

○万国博覧会（姫野 照正）

世界各国が参加する博覧会のことを、万国博覧会というが、最初は、1851年、ロンドンで開催された。日本の公式参加は1873年のウィーン万国博覧会からである。1928年国際博覧会条約がパリで締結されて、日本は1965年に加盟して、1970年に大阪で、2005年に愛知で開催されました。

1889年パリで開かれた万国博覧会では、それを記念してフランス人技師グスタフ・エッフェルがエッフェル塔を設計し、建設されました。高さ約320mの鉄塔で、東京タワーはこれに負けない高さとして、1958年、放送・通信用アンテナとして使用し、展望台がある塔として作られました。高さ338mで、エッフェル塔よりも18m高い。なお、この一部には戦後の日本に占領軍として来た米軍の戦車のスクラップが使われたという話があります。（イ）に東京タワーを描いた切手を示す。



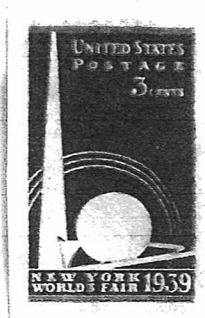
（イ）

1867年（慶応3年）、パリで開催された第5回万国博覧会には将軍徳川慶喜の名代として、水戸藩主、徳川昭武が派遣されましたが、1868年（明治1年）の幕府の崩壊で、急遽、帰国しました。また、薩摩もフランスからのアドバイスで、日本には徳川幕府とは別に存在するとして、使節を派遣しました。この薩摩は勲章を作って、フランスの高官に配り、好評であったといえます。この勲章は薩摩勲章と呼ばれ、実物が鹿児島市の尚古集成に残っているそうです。当時の日本に対して、幕府崩壊後を睨んで、諸外国が主導権を握ろうといろいろな策を行っていました。フランスの動きもその一つです。その中、オランダは昔から日本と交流があったが、その当時の日本は幕府自体が混乱しており、主導権を握る人物が居なくて、オランダの献策を取り上げなかったと言われます。オランダ風説書等で、幕府には情報を送っていました。昭武一行に宛てた在日本フランス郵便局を通じて送った郵便封

筒が残っており、その郵便料金から、小判又は金塊ではなかったかと云われています。これらについては、元日本郵趣協会の理事長や会長をされた松本純一氏が書いてます。米国は1775~82年、英国と独立戦争を行った。この間東部13州が独立宣言を出した。1781年英軍の降伏を受けて、1783年9月のパリ条約で、独立が認められた。この独立100年を祝しフランス国民から、友好のしるしの女神の像であり、1886年に建造された。1939年独立200年を記念して2月からサンフランシスコで、ゴールデンゲート国際博覧会(ロ)を、4月1日からニューヨークで万国博覧会を開催した(ニューヨーク万国博、ハ)。この2つの博覧会で発行された記念切手と、その後、米国で発行された自由の女神を描いた普通切手(二)、(ホ)を示す。米国では、自由の女神が国の象徴の一つとして航空切手をはじめ各種の切手や葉書に描かれている。



(ロ)



(ハ)

の女神の像であり、1886年に建造された。1939年独立200年を記念して2月からサンフランシスコで、ゴールデンゲート国際博覧会(ロ)を、4月1日からニューヨークで万国博覧会を開催した(ニューヨーク万国博、ハ)。この2つの博覧会で発行された記念切手と、その後、米国で発行された自由の女神を描いた普通切手(二)、(ホ)を示す。米国では、自由の女神が国の象徴の一つとして航空切手をはじめ各種の切手や葉書に描かれている。



(二)

この他、1939年のニューヨーク万国博にはフランスでも記念切手(へ)が発行されている。この切手には自由の女神



(ホ)

とフランス国旗とパビリオンのフランス館とタワーと球状の記念碑が描かれている。フランスではこの他、エッフェル塔とテレビアンテナと町並を描いた「フランスのテレビジョンの進歩」の記念切手(ト)が1955年4月16日発行されている。



(へ)



(ト)